

新連載

ヤマランド
ニッポン

山に
ゴルフ場

がやっ
て

きた
エピソード
2

PHOTO/Kenji Kobayashi
TEXT/Mika Kawano

千刈CCC(兵庫県) 羽束山の麓に広がる 学校所有のゴルフ場

16番
448Y パー4

左ドッグレッグのパー4
のセカンド地点からは
グリーン右手に羽束山。
写真右の一番高い山

ゴルフを通じた 健全教育の場

兵庫県三田市。羽束山を背景に広がるなだらかな丘陵地に千刈CCCがある。欧米ではゴルフ場を持つ学校は珍しくないが、国内ではここが唯一。教育の一環として学校法人「関西学院」が所有し、大学生や高校生の部活動の拠点となっている。

すべてのホールから見渡せる羽束山は標高524メートルの小さな山だが、尖った形状がなんとも愛らしい。古来修験道の霊場として知られ、周辺の豊かな自然と景観に惚れ込んだのが設計家J・E・クレインだ。

イギリス人の父と日本人の母の間に日本で生を受けた三兄弟の末っ子で、兄とともに鳴尾ゴルフ倶楽部の設計に関わるなど

日本のゴルフ史に名を刻む名匠は、競技者としても一流だった。千刈の設計に当たっては、当

時開発されたばかりの新種ティフтон芝を採用。スプリングクラー設備を導入するなど斬新なアイデアで「ナイスショットが報われる」戦略性の高い18ホールを造り上げた。とくに3番パー3は羽束山とグリーン手前に迫る大谷池の景観が美しくも難易度が高い名物ホール。

現在フェアウェイはライグラスのオーバーシードで1年を通して美しい緑の絨毯を楽しめる。今年の7月25日で開場55周年を迎えたが、伝統の「完璧なメンテナンス」は健在。羽束山が学生たちの成長を静かに見守っている。

はつかさん
羽束山(兵庫) 標高524m



尖った山容が特徴の山で、「香下山」とも呼ばれる。山麓には香山寺、山頂には羽束神社があり、登山道も整備されている



3番、173ヤードのパー3。ティーイングエリアに立つと、コース内の大谷池越しに羽束山の雄姿を眺められる



千刈カンツリー倶楽部
18H-6561Y・P72